

平成28年度 まちづくり懇談会（タウンミーティング）議事録

会議名	ハッピー体操サポーターとのまちづくり懇談会 (給食ミーティングによるタウンミーティング)
開催日時	平成29年2月23日(金) 午前11時45分～午後1時25分
開催場所	川島町役場 庁議室内
公開・非公開の別	公開 ・ 非公開 ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一部公開</span>
非公開の理由 (非公開の場合のみ)	個人を特定する情報については非公開とする ※「まちづくり懇談会実施要領」 10 懇談内容の公表 町民に対して積極的な情報提供を行う観点から、懇談会における懇談内容は、団体名や個人名を特定しない形式で、町広報紙や町ホームページで公開する。
議題	「介護予防から始まるまちづくり」 ハッピー体操は、介護予防だけではなく住民同士の支え合い、交流の場となっている。ハッピー体操を支えるサポーターとして今後もハッピー体操を盛り上げて、元気なまちにしていきたい。
出席者	●町 : 飯島町長、健康福祉課藤間課長、政策推進課秘書室柴生田主査(給食説明のみ、学校給食センター浜中主幹・木島管理栄養士) ●関係機関: 川島町社会福祉協議会鈴木主査 ●団体: ハッピー体操サポーター9名
配布資料	資料1 給食だより 資料2 学校給食献立予定表 資料3 タウンミーティング(給食ミーティング)資料
<p><b>審議等の内容又は概要</b></p> <p>※今回のタウンミーティングは「給食ミーティング」形式として実施。</p> <p>1 開会</p> <p>2 川島町の給食について説明 川島町学校給食センター浜中主幹による概要説明及び木島管理栄養士による献立説明。</p> <p>3 自己紹介</p> <p>4 タウンミーティング(給食ミーティング)「介護予防から始まるまちづくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハッピー体操サポーター(以下「サポーター」という。)のモチベーションが上がるような仕組みについて、町、社協、サポーターで検討していく。</li> <li>・参加者の増加により手狭となっている会場がある。今後実施方法の工夫や利用できそうな場所等の模索を図る。</li> </ul>	

**質疑応答・意見提案 ※フリートーク形式で実施**

町長：現在、当町の高齢化率は30.6%（平成29年1月末現在）となっており、来年度には32%を超えそうな状況。介護予防は非常に重要だと感じている。高齢者が増加することで、交通対策も課題だと感じており、今その対策に取り組んでいる。その一つとして、若葉駅から八幡を経由し、役場にも行ける路線バスが開通することとなった。もっと便が良くなると期待している。ハッピー体操は私も一度参加してみた。なかなか激しい有酸素運動で、体力的に少々きつuitと感じた。特に後期高齢者ではついていけないのではないかと思い、座ってできるような運動で、なおかつ通いやすい場所でできる事業ができないかと健康福祉課長に話したところ、足腰が弱った高齢者でも、椅子に座って筋トレができる「かわべえいきいき体操」を立ち上げることとなった。ハッピー体操にはついていけないという人でも参加できる体操である。これから川島町がもっと元気になるために、介護予防に関してみなさんの経験と知識をいろいろ教えてほしい。

団体：声を出すことはとても良いと思う。声を出せるようなレクリエーションがあったらいいと感じている。また、「かわべえいきいき体操」については、名前を聞いたことはあったが実態をよく知らず、毎週行われていることを今初めて知った。ハッピー体操では厳しいという人の受け皿だということだが、ハッピー体操のサポーターとして、住民に紹介ができるよう情報がほしい。

団体：サポーターとして活動するなかで、男性の参加者が少ないと感じる。もっと男性の参加者に増えてほしいと思う。

団体：私もやはり、男性の参加者が少ないと感じる。自分の家族と話していると、そういう教室に参加することに気恥ずかしさを感じたり、プライドもあつたりして、参加しにくいのだと感じる。それでも参加してほしいと思う。

町長：確かに恥ずかしいし、参加者が大勢いるから圧倒される感じを受ける。

団体：サポーターも、長く続けることが良いことだと思う。他市町村で、ボランティアポイント制度を取り入れていると聞いた。ボランティアに従事するとポイントがもらえ、そのポイントがたまると何かもらえる仕組みのようなもの。町でも是非取り入れてもらえないか。

町長：どんな物がもらえると嬉しいのだろうか。

団体：ハッピー体操のサポーターは、ボランティアとして活動するだけで何の特典もない。一般の（ハッピー体操）参加者は、参加するたびカードにハンコを押してもらえるのに、サポーターは何のポイントもない。不平等さを感じる。労力を活用するのであれば、対価としての報酬がほしい。

団体：ポイント制度を導入するのであれば、現在「健幸★筋力アップ教室」で配布している歩数計のように、バーコードを通せばポイントが加算されるような機械的な仕組みを導入してほしい。

町長：ボランティアとして考える以上、報酬を与えるのは少々難しいが、提案されたポイント制度であれば検討の余地はある。

(町)：健康マイレージのポイント制度については、平成30年度を目途に埼玉県で制

度導入を検討しているところであり、機械を用いたポイント制度を考えているよう。皆さんにはもう少しお待ちいただきたい。

団体：ハッピー体操の参加者は、参加回数100回等記念で表彰状と記念品をもらっている。記念品はこれまでずっとタオルだが、ティッシュペーパーに替えられないかという要望が聞かれている。

(町)：意見として承る。

団体：かわべえいきいき体操は、非常に効果があると思う。シルバーカーを押して歩いていた人が、体操参加3か月後には腰を伸ばして歩けるようになった。また、地区の人だけが参加するので、互いに声をかけあっているのも良い影響だと思う。

(町)：町としては、町内全集会所に「かわべえいきいき体操」を立ち上げたいと思っ  
てはいるが、数が多い(80以上)ので少しずつ増やしていきたい。

(町)：介護予防の点では、やはりハッピー体操が与えてきた功績は大きいと思う。最近参加者数は順調に増えているようだが、皆さんの工夫点は何か。

団体：会場数が増えた。特に伊草については部屋を分けるなどして場所を増やしてもらえた。サポーターの声かけや、広報紙掲載、ロコミなどの効果も大きいと思う。

団体：しかしながら、会場が手狭なのは現在でも課題。例えば廃校となる小学校の体育館は使用できないか。

(町)：調整次第。

団体：熱中症の心配があったり、冬季は寒くて運動に向かないなど、体育館での実施は余り好ましくないように感じる。

町長：八幡にある民間会社の体育館はどうか。

団体：地理的に遠い。

(町)：公共施設の活用には限界がある。民間活用ができないかと考え、八幡地区内にある民間会社の社員用体育館を利用できないか調整を図ったところ、業務中に当たる昼間の貸出しは難しいが、それ以外の時間帯であれば利用できるとのこと。

団体：小学校統合が進められているが、学校統合後に廃校となる小学校の旧校舎は利用できないか。体育館での体操は困難だが、教室であればエアコンもあるし、広くて使いやすい。

町長：廃校となる学校の跡地については、今現在、地域に活用方法の意見を提案してもらっているところ。もしハッピー体操やその他健康に関する教室で活用したいとなれば、その地区のみでなく町民全員が利用できる目的施設として、地域で案を出してもらえると嬉しい。そのような案は、町(役場職員等)だけで考えるより、住民の皆さんの意見で多様なアイデアを出してもらったほうがより良いものとなると思う。その案を是非地域で出してほしい。

団体：旧校舎でハッピー体操を行うとなれば、交通手段の確保が重要となる。町で是非考えてほしい。

町長：例えば、送迎時間外の通学バスを活用するとか、あるいはお助け隊、かわみん

タクシーなど、考えられるものはいろいろあると思う。皆さんの要望や考えなど、いろんな意見を伺いたい。

団体：廃園となった幼稚園は使えないのか。

町長：子育て支援センターとして、この4月にオープンすることとなっている。あくまで「子どものための施設」となるが、調整次第では使用できる。

(町)：子育て支援センターについては、内容によって利用日が決まっているが、利用日でない日であれば、ハッピー体操で使用できる。

団体：ハッピー体操の参加者が多いことについて、会場を増やすのも一つの案だが、実施時間を分けるというのはいかがだろうか。特に参加者数の多いフラットピアは、午前と午後の2回実施し、どちらか一方のみの参加としてもらえば、1回あたりの人数は減ると思う。また、八幡集会所を使用しても良いのではないかと思う。いずれにしても、今日集まっている私たちはサポーターの中でも「代表」として集まっており、比較的意欲が高い者が集まっているが、サポーターの中にはやる気を失いつつある者もいる。サポーターのモチベーションが高まるような取り組みを考えてほしい。

団体：サポーターは「意欲があるから担っている」と思われている感じを受ける。しかし私たちももっとフォローしてほしいと感じている。

団体：先日行われた、サポーターのフォローアップ研修は非常に良かった。研修講師を招かず、サポーター同士で「良いレクリエーション」についてグループワークやプレゼンテーションを行ったものだったが、非常にためになったし、やる気もわいた。

団体：自分たちで考え合うのはとても大切だと思う。グループ同士で話し合うのもとても良いと思う。

団体：グループワークの結果をプリントとしてフィードバックしてもらえたのも良かった。